

# システム管路からの作動油試料採取方法

■対応規格：JIS B9936 (ISO4021)

## 試験概要

作動油の分析結果はサンプリングする場所と方法で大きく違ってきます。正しい分析結果を求めるためには、正しい手法でオイルを採取する必要があります。

## 採取方法

オイル採取は、運転中の油圧システムの主管路から行います。

主管路からの採取が困難である場合はタンク内から採取を行います。

・管路からのサンプリング

採取するポイントは、主要設備の直後、ろ過フィルタの前、流体の滞留の無い場所が理想的です。

(図中 A)

採取前に管路中に設けた採取口をきれいにし、よくフラッシングしてください。

・タンクからのサンプリング

タンク内から直接採取する場合には真空式サンプラなどを用います。

採取するポイントは、タンク内の油面からタンク底面までの1/2の深さで油圧回路の戻りライン

付近が理想的です。(図中 B)

タンク底面や側面、ドレン付近には沈殿した不純物が堆積しているので、その周辺からは採取しないで下さい。

### ■サンプル容器

十分に洗浄し清浄度を確認した容器を用います。

採取中に蓋、中蓋等が汚染されぬよう注意して下さい。

採取後の容器にはサンプルの情報を明記して下さい。

・サンプル No.

・機器名称

・サンプル日

・サンプル場所

・タンク油量

・前回サンプルからの時間

・使用中のフィルタ精度

・その他特記事項

# 試験装置概要

